

# 点群処理ソフトウェアを用いた 座標変換実施手順例

(CloudCompare Ver.2.13alpha編)

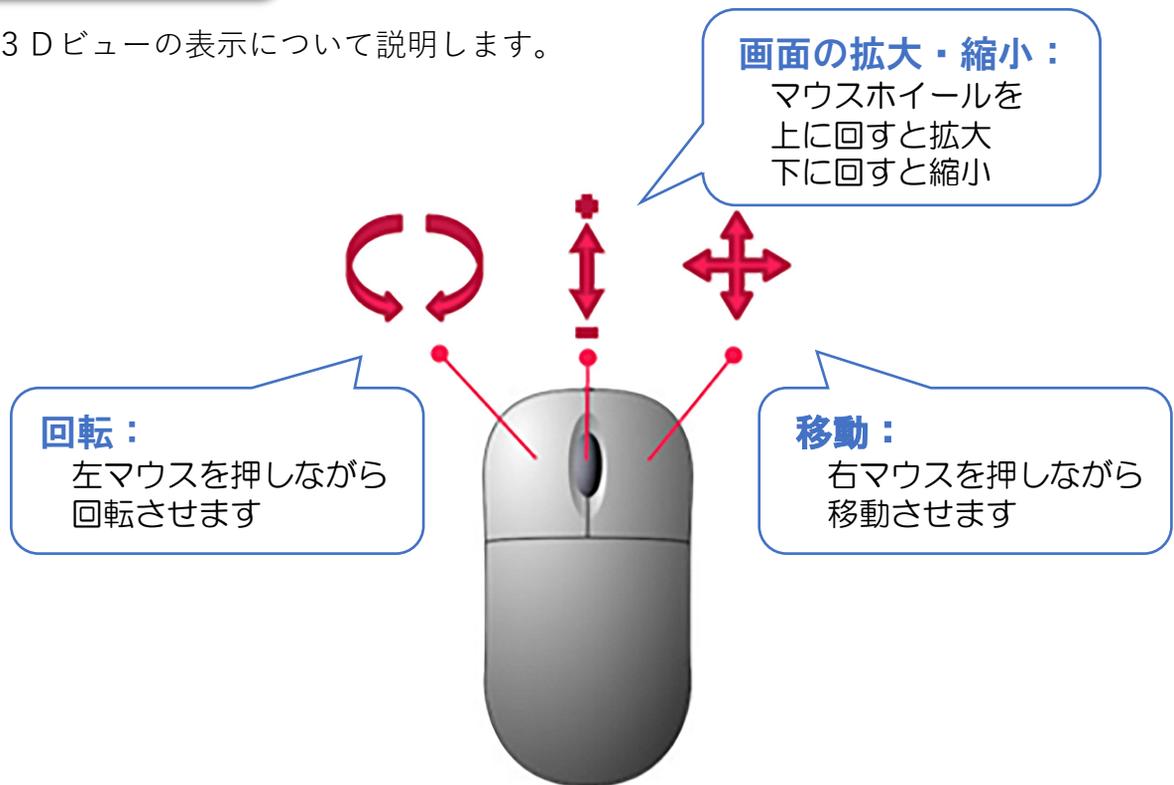
※バージョンにより画面構成やコマンド名が異なる場合があります。

## はじめに

まずは、基本的な使い方を覚えましょう。

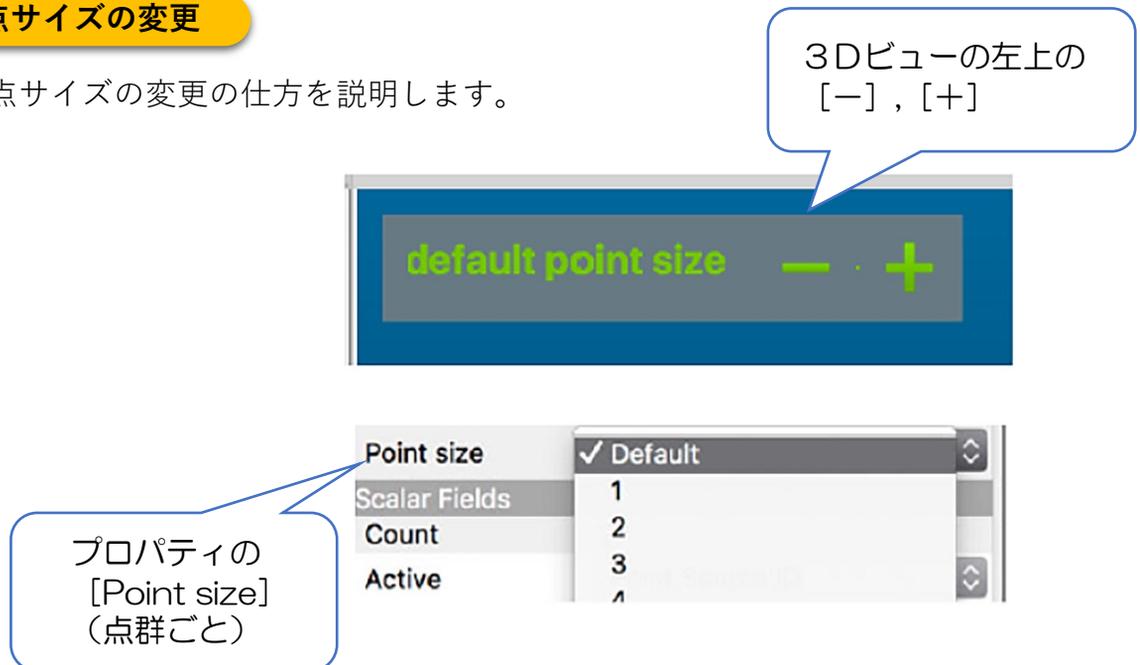
### 3Dビューの表示

3Dビューの表示について説明します。



### 点サイズの変更

点サイズの変更の仕方を説明します。

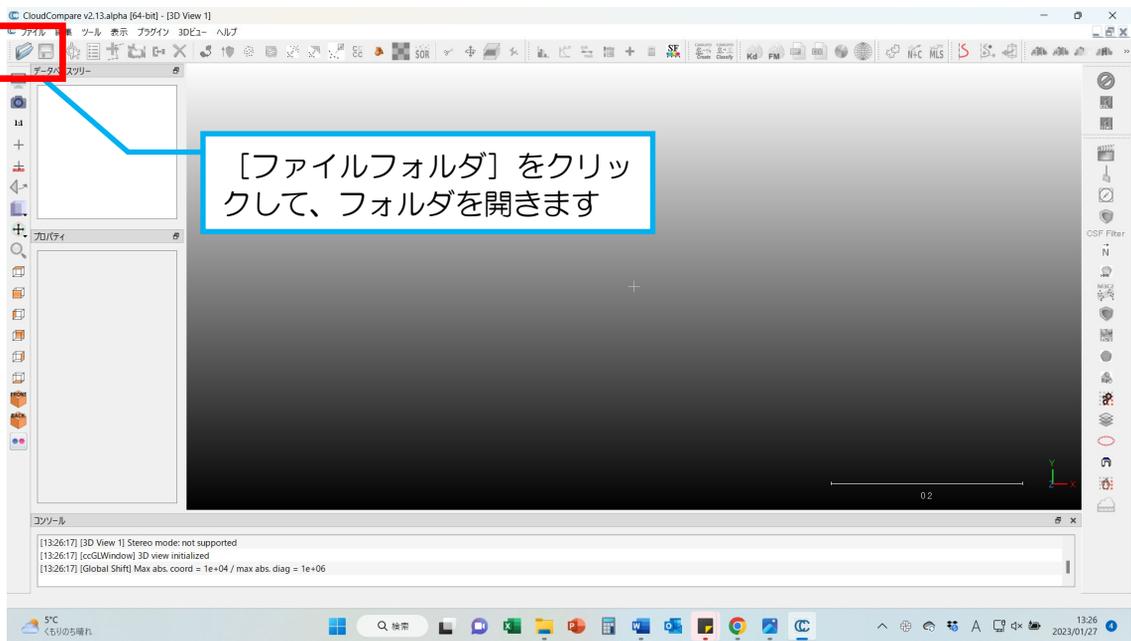


## 使い方

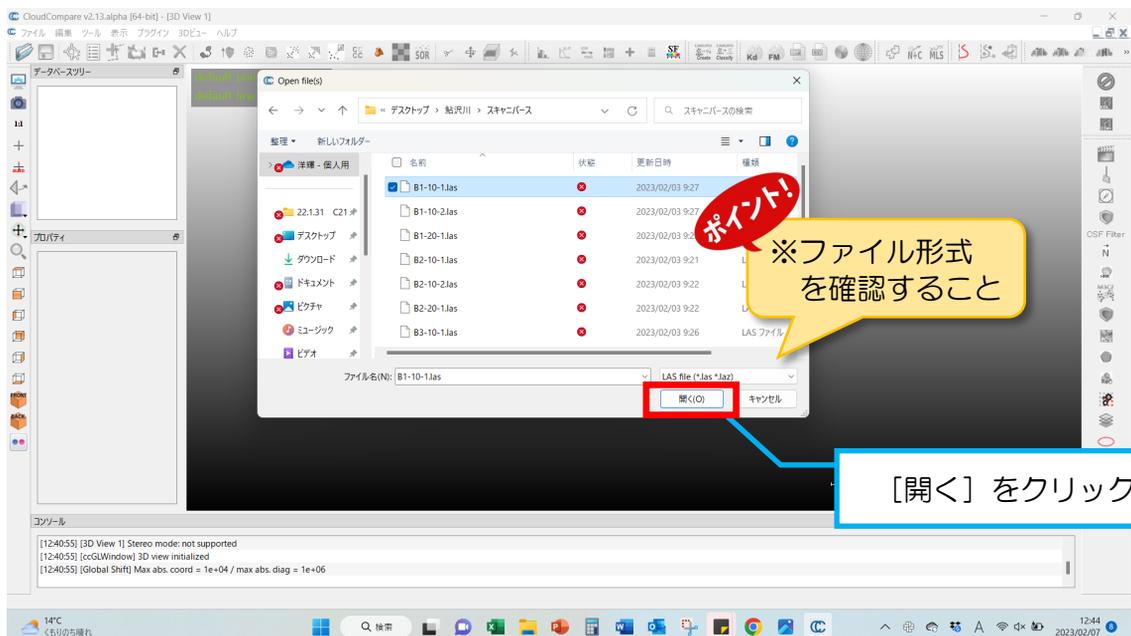
データの読み込み方法を説明します。

### 1 データの読み込み

①点群データが入っているフォルダを開きます。

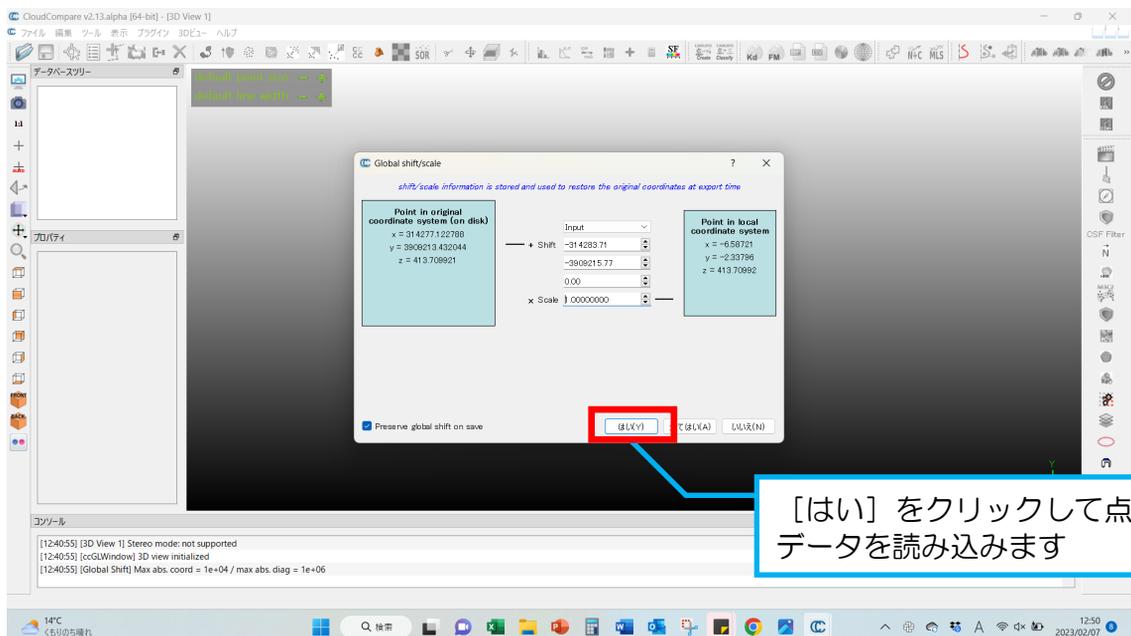
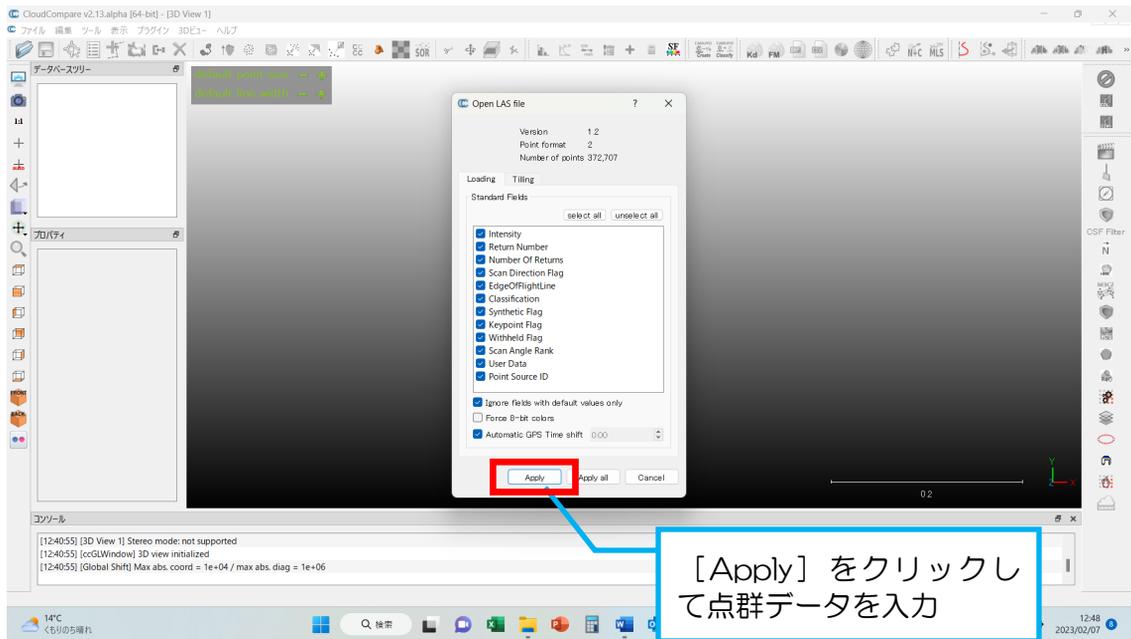


②使用する点群を選択します。



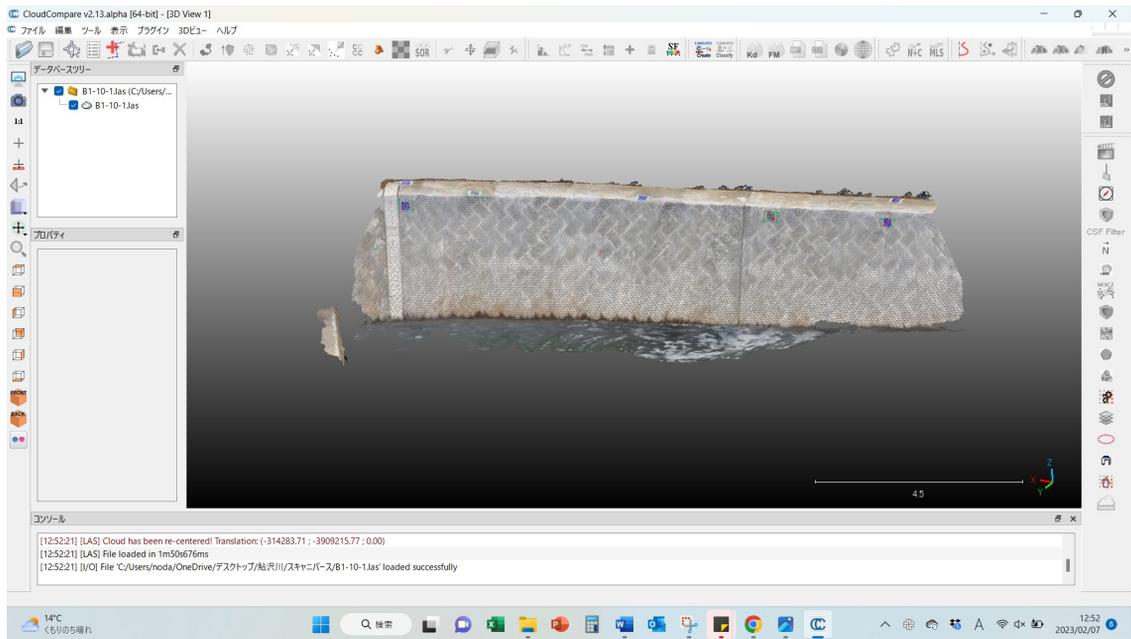
## 使い方

### ③ 選択したデータを入力します。



## 使い方

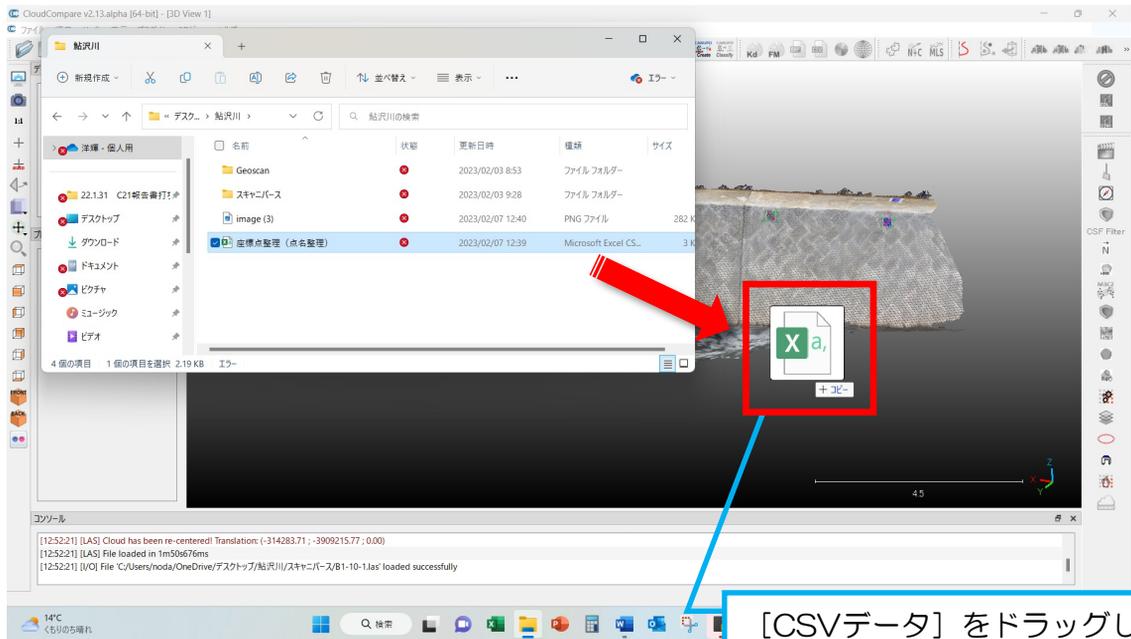
④読み込んだデータが表示されます。



## 使い方

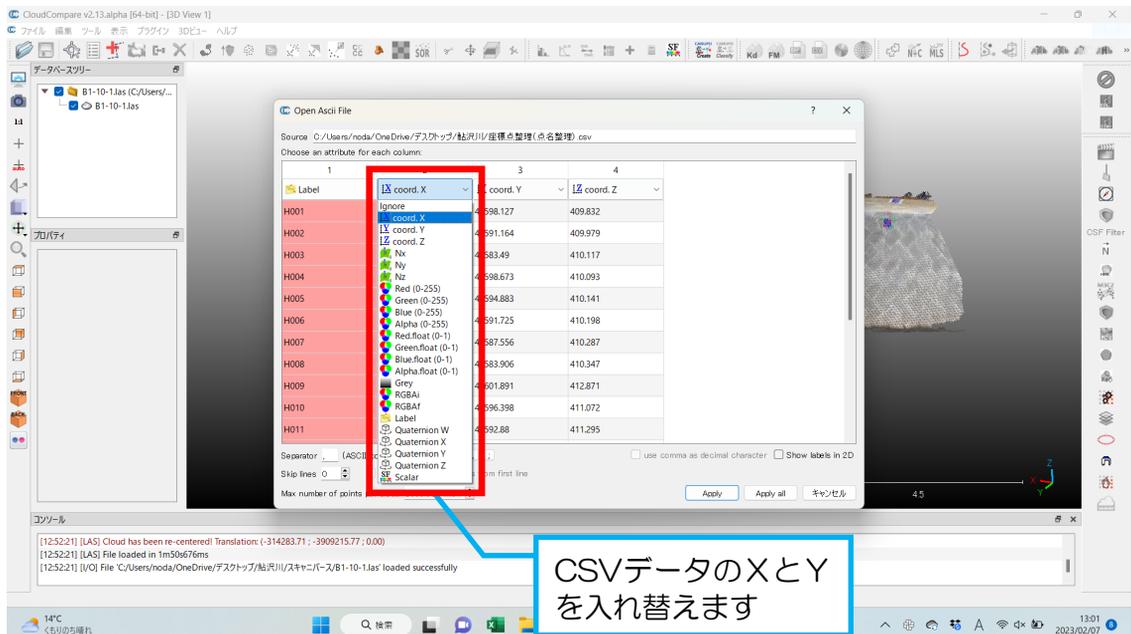
### 2 CSVデータの入力

① CSVデータを入力します。



[CSVデータ] をドラッグして、CSVデータを入力

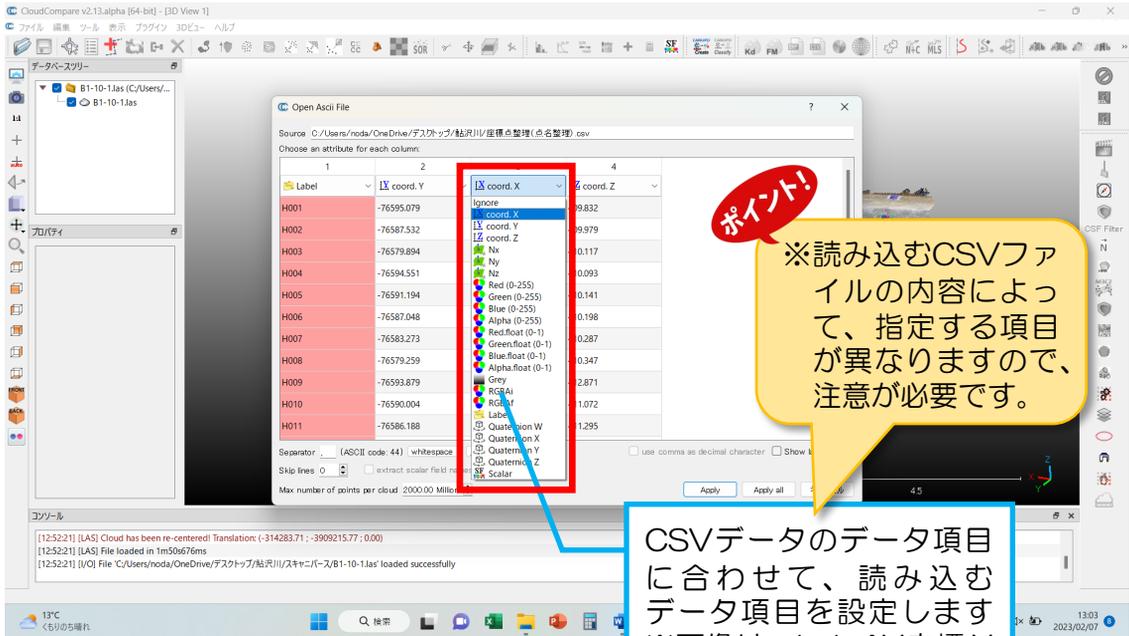
② CSVデータのXとYを入れ替えます。



CSVデータのXとYを入れ替えます

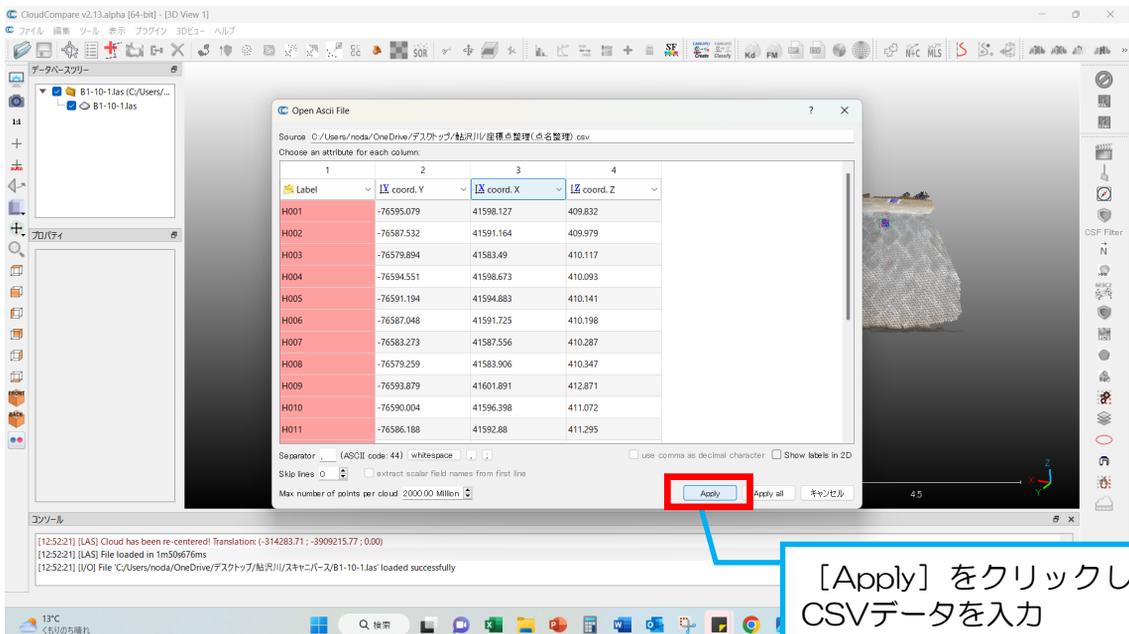
## 使い方

### ③ CSVデータの読み込み方法を指定します。



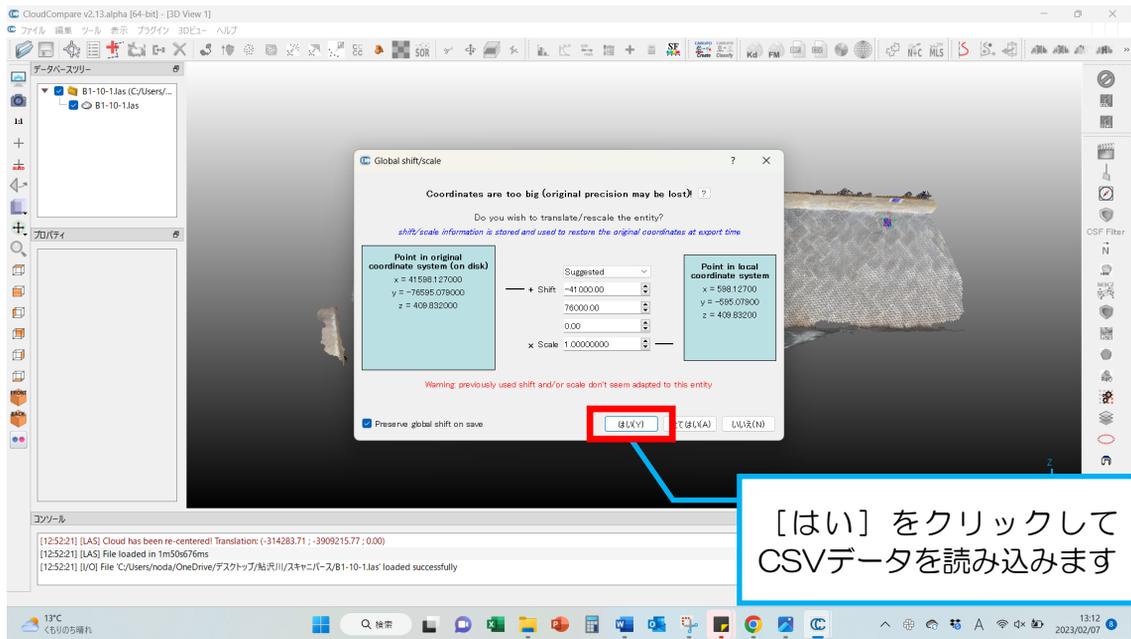
CSVデータのデータ項目に合わせて、読み込むデータ項目を設定します  
 ※画像は、Label,Y座標,X座標,Z座標の順で読み込む場合の例

### ④ 選択したデータを入力します。

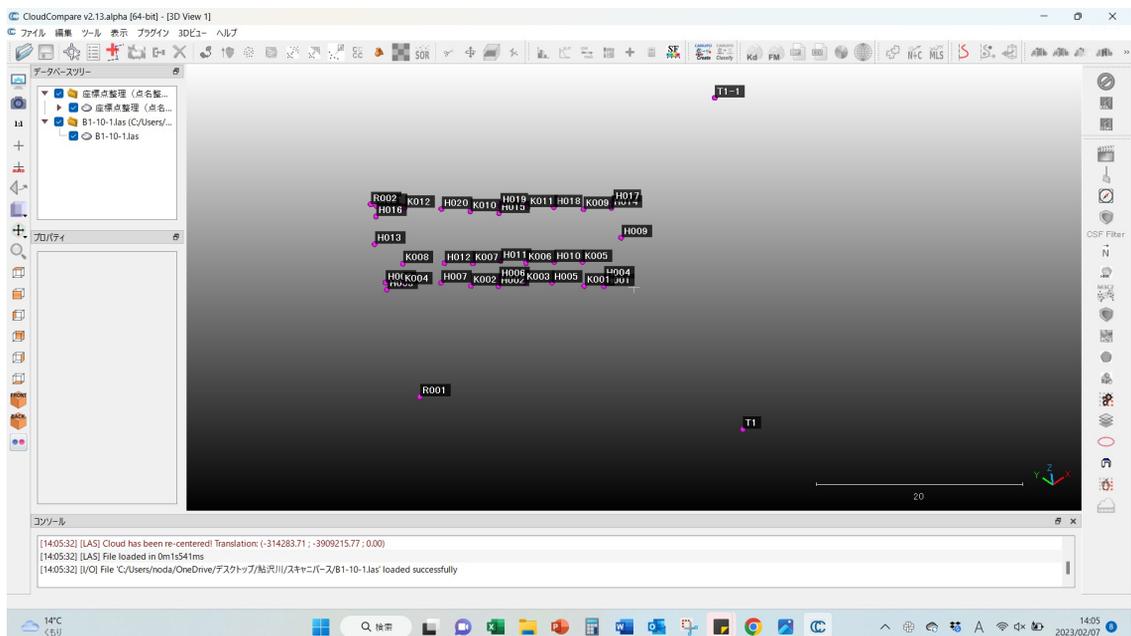


## 使い方

### ⑤ CSVデータを読み込みましょう。



### ⑥ 読み込んだデータが表示されます。



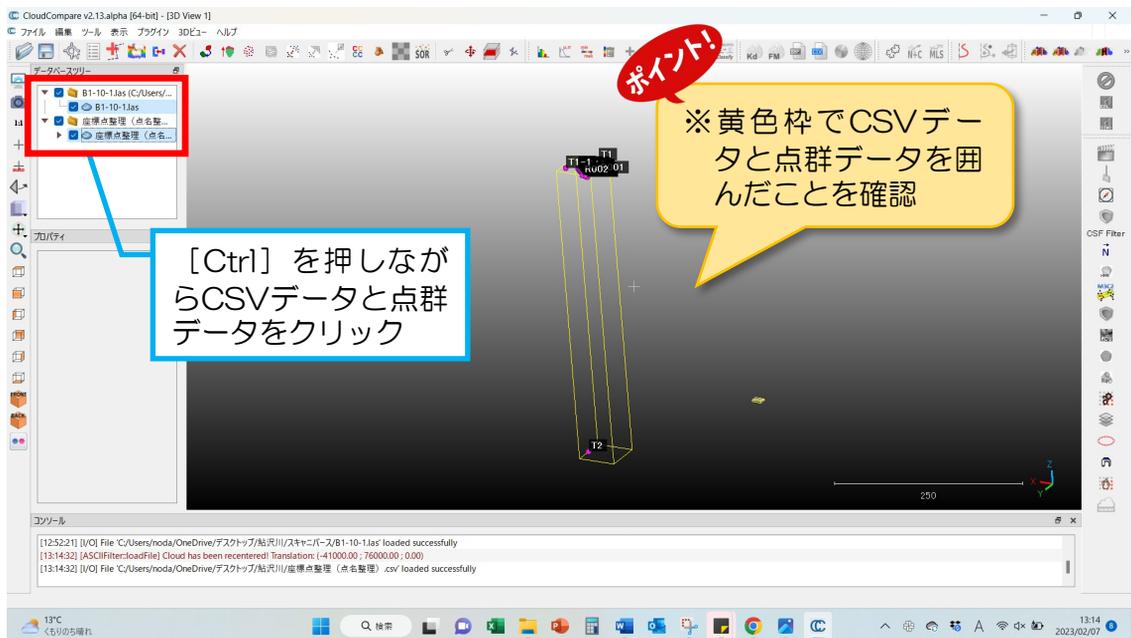
## 使い方

データの座標変換(位置合わせ)の仕方を説明します。

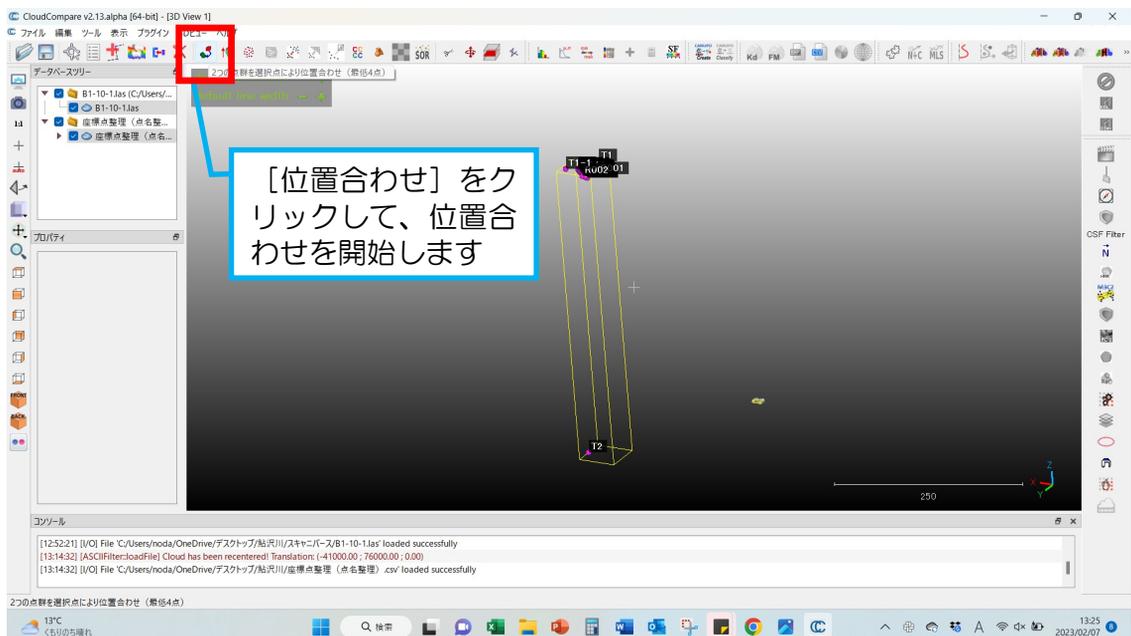
### 3 座標変換（位置合わせ）

① CSVデータおよび点群データを選択します。

※なお、座標変換は、各種アプリケーションで実施手順、変換方法が異なります。

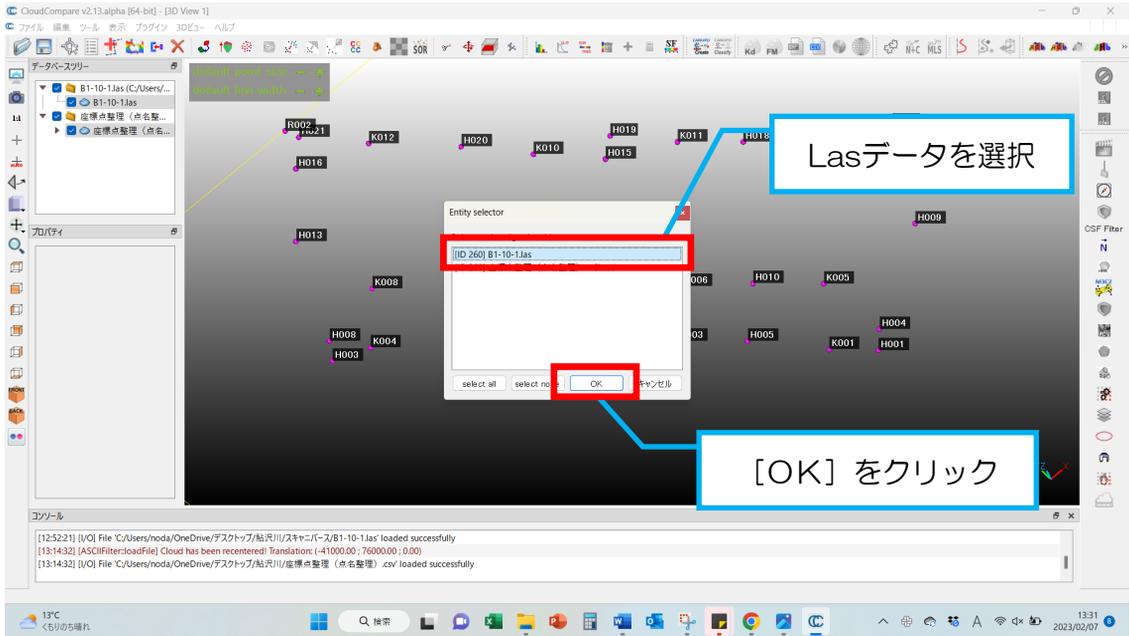


② 座標変換（位置合わせ）をしていきます。



## 使い方

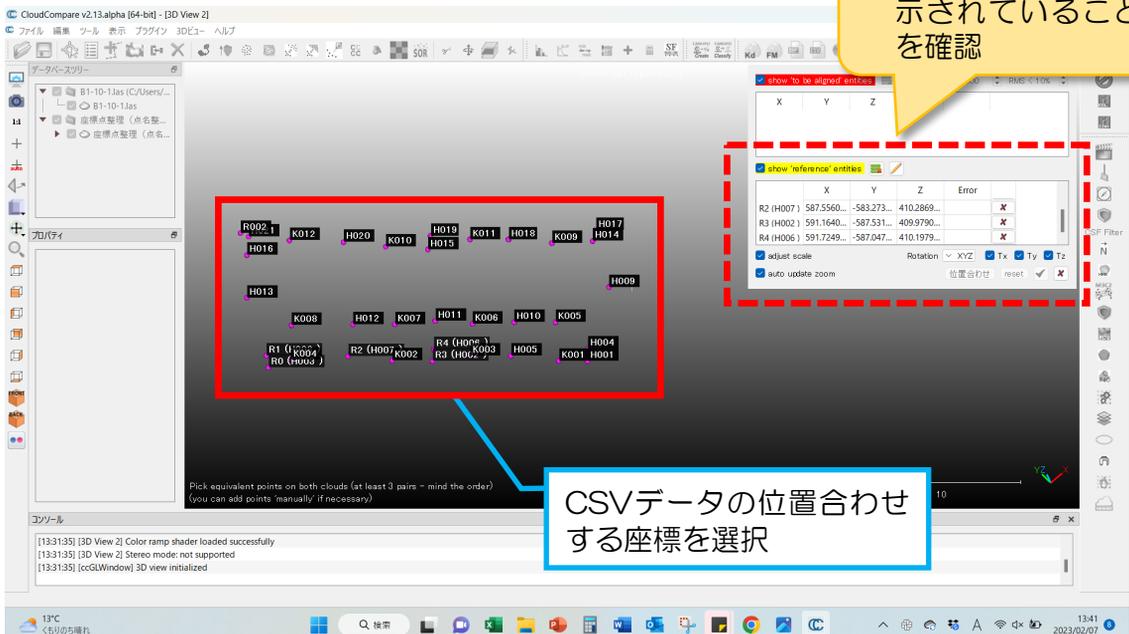
### ③Lasデータを選択します。



### ④CSVデータの座標変換（位置合わせ）をしていきます。

ポイント!

※選択した座標が表示されていることを確認

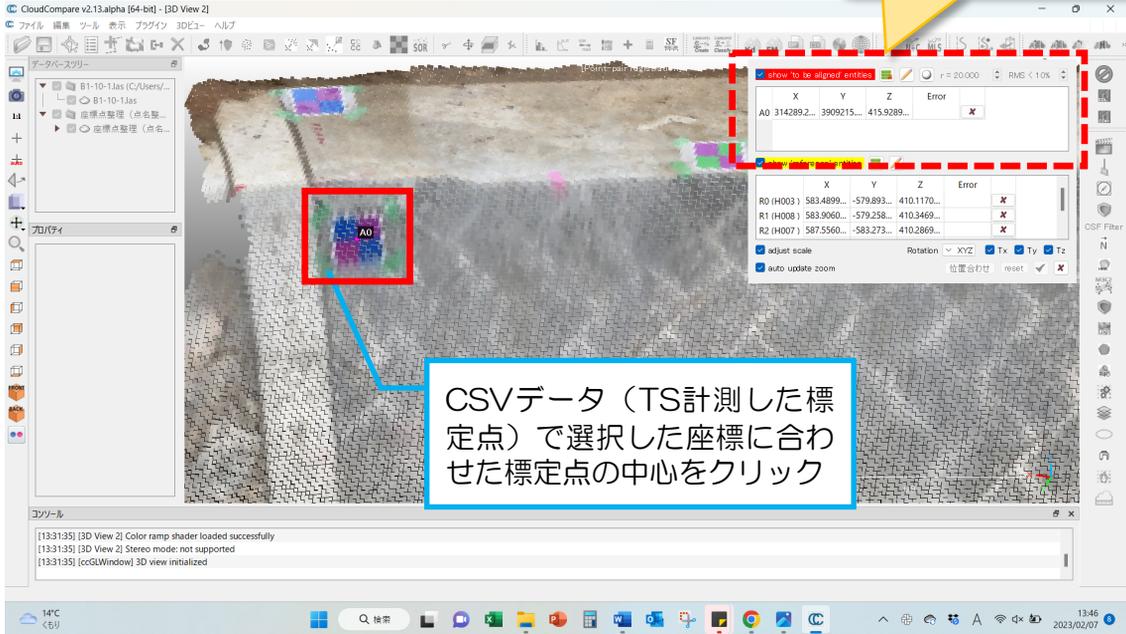


## 使い方

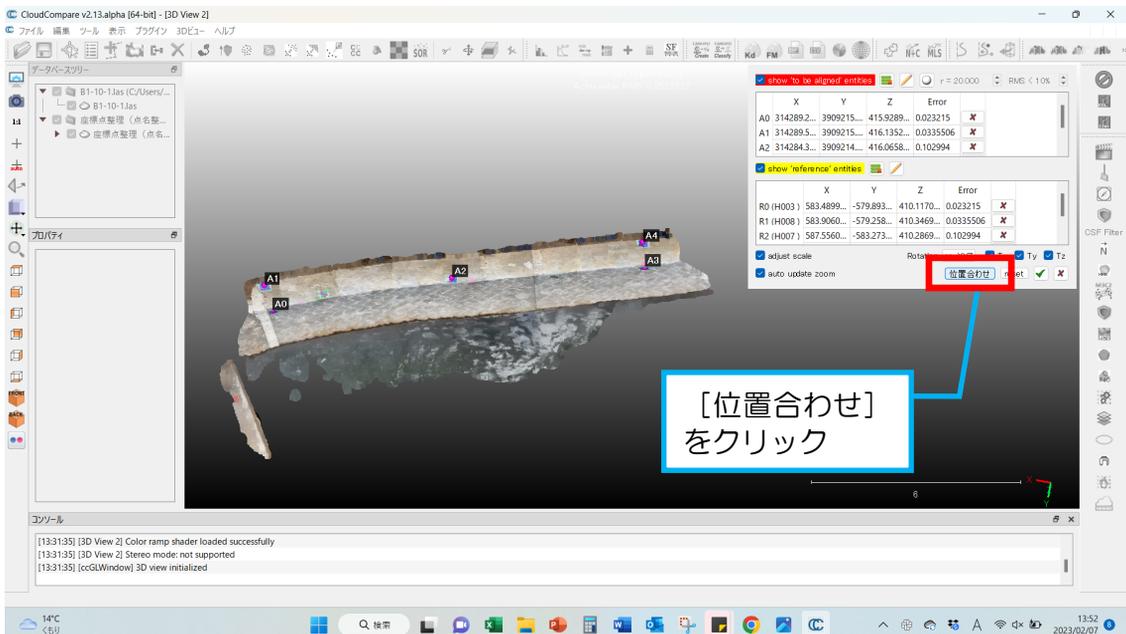
⑤ 標定点の中心をクリックします。

ポイント!

※選択した標定点が表示されていることを確認

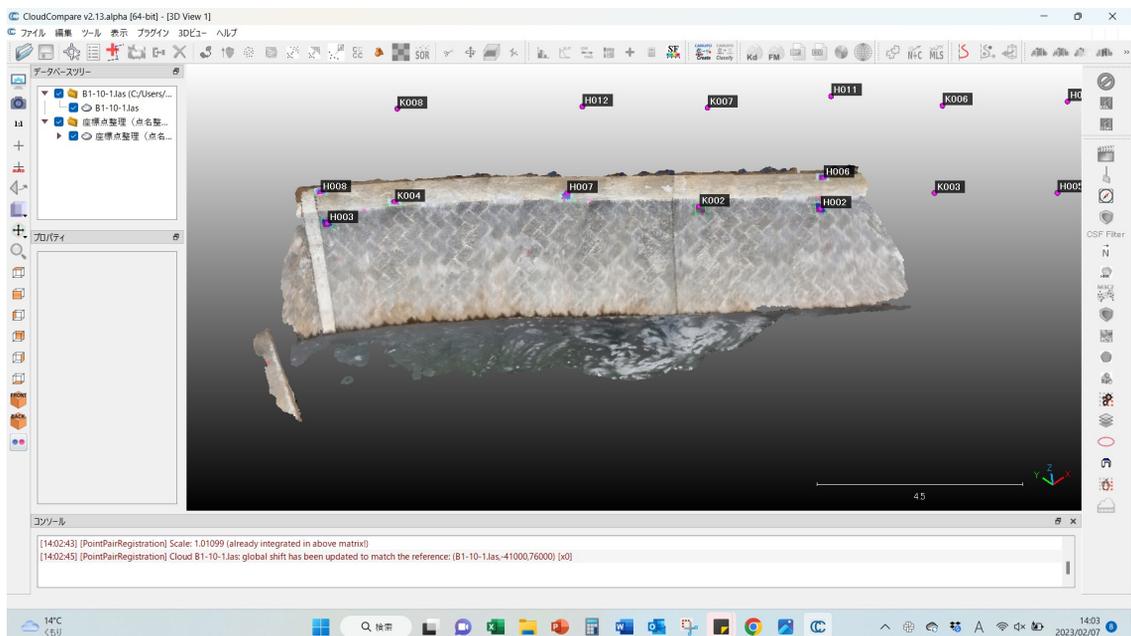
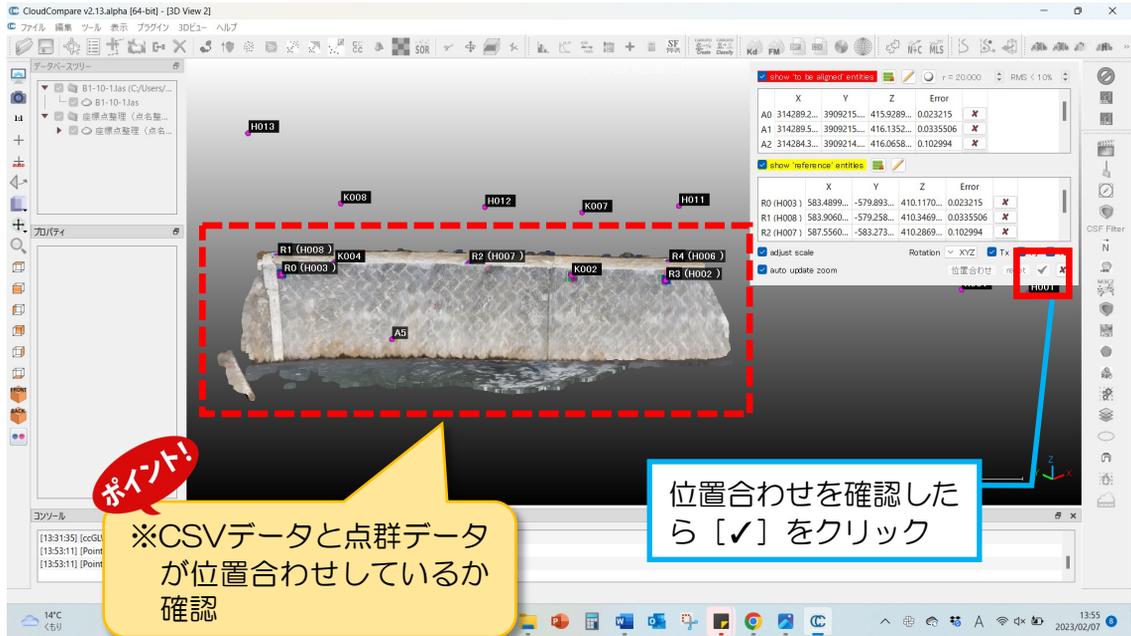


⑥ 座標変換（位置合わせ）をしていきます。



## 使い方

⑦ CSVデータと点群データの座標変換（位置合わせ）が出来ているか確認しましょう。

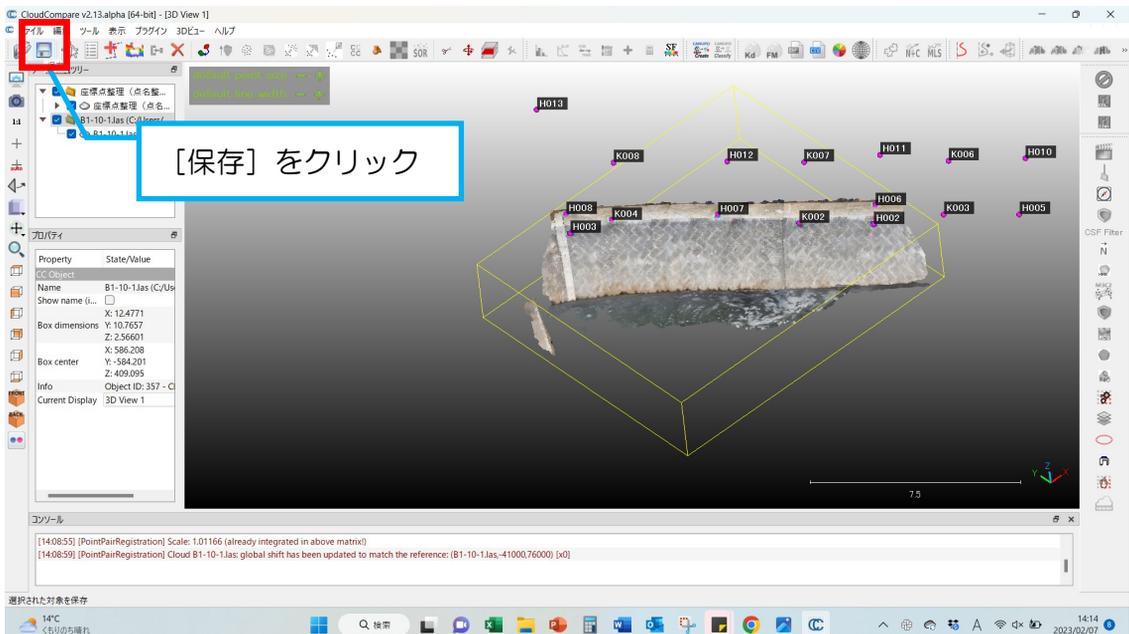
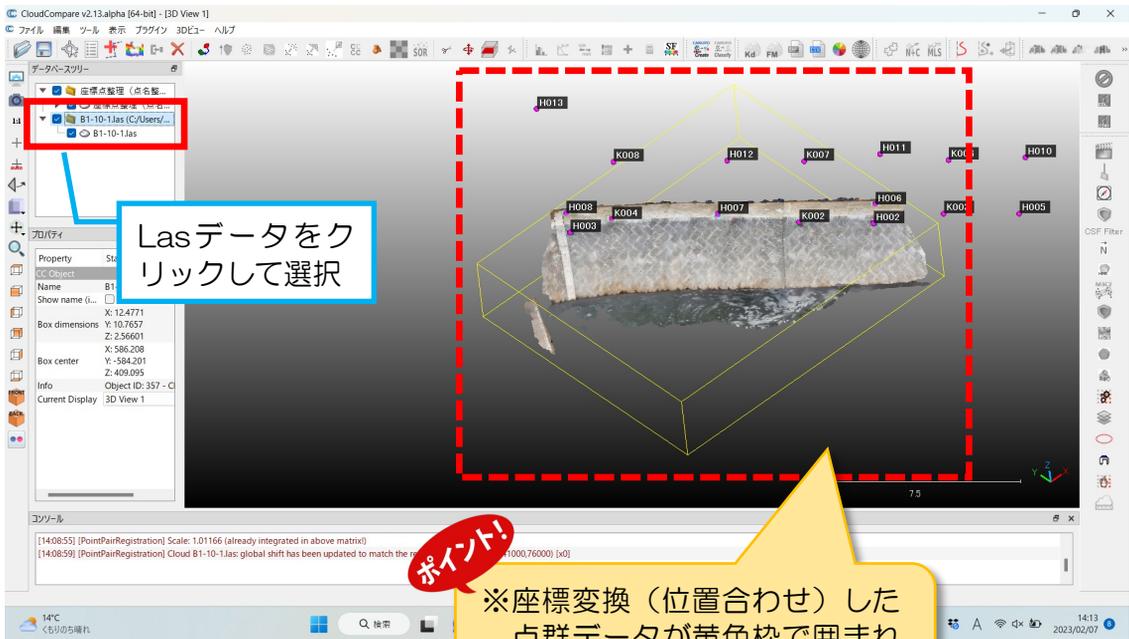


## 使い方

CloudCompareデータを保存していきましょう。

### 4 保存

①保存したいデータを選択します。



## 使い方

②ファイルの種類を確認したら、保存しましょう。

